

那須町 AI 型デジタルドリル導入業務仕様書

1 業務名

那須町 AI 型デジタルドリル導入業務

2 業務目的

本業務は、那須町立小中学校の児童生徒を対象に AI 型デジタルドリルを導入し、児童生徒一人一人の学習状況に応じた個別最適な学びを支援するとともに、基礎学力の定着、主体的な学習習慣の形成及び教職員の負担軽減を図ることを目的とする。

また、学習履歴の活用により、教職員が児童生徒の学習状況を把握し、授業、補充学習、家庭学習、不登校傾向の児童生徒への学習支援等に活用できる環境を整備するものとする。

3 対象

対象校、対象児童生徒数及び学級数は、実施要領に記載のとおりとする。

なお、実際の利用人数、教職員数、予備アカウント数等については、契約締結時に発注者と受託者が協議の上、確定するものとする。

4 利用環境

本町では、児童生徒用端末として iPad を整備しており、モバイル通信を含めた 1 人 1 台端末環境を基本としている。

受託者は、本町の児童生徒用端末及び教職員の利用環境において、学校内での利用のほか、児童生徒用端末を家庭等で使用する場合にも、安定的に利用できるクラウド型のサービスを提供すること。

対応 OS、対応ブラウザ、専用アプリの有無、通信環境、利用時の通信量、端末への負荷、利用に当たって必要となる設定等については、提案書に明示すること。

5 想定する利用場面

本業務で導入する AI 型デジタルドリルは、主に次の場面での活用を想定する。

- (1) 児童生徒が、学校又は家庭等において、1 人 1 台端末を活用し、自分の習熟度に応じた学習に取り組む。
- (2) 授業中、朝学習、補充学習、家庭学習、長期休業中の課題等において、教職員が課題を配信し、児童生徒の取組状況を確認する。
- (3) 児童生徒が、間違えた問題や理解が不十分な内容について、復習問題や類題に取り組む。
- (4) 教職員が、学習履歴を確認し、個別支援、授業改善、補充学習等に活用する。
- (5) 不登校傾向の児童生徒等に対し、家庭等から学習に取り組める環境を提供する。
- (6) 単元ごとの学習内容に応じた問題演習や復習問題等を活用し、学習状況の把握及び指導改善に役立てる。

6 基本要件

提供する AI 型デジタルドリルは、次の要件を満たすこと。

- (1) 児童生徒及び教職員が、ID 及びパスワード等により認証され、学校内での利用のほか、児童生徒用端末を家庭等で使用する場合にも利用できること。
- (2) 児童生徒一人一人の学習理解度、解答状況、解答時間、過去の学習履歴等に応じて、個別に最適化された問題、復習問題又は定着確認問題に取り組めること。
- (3) 学習指導要領に準拠し、本町で採択している教科書に対応した単元、配列又は目次により学習できること。
- (4) 小学校 1 年生から中学校 3 年生までの学習に対応し、国語、社会、算数・数学、理科、英語の主要教科を基本として学習できること。
- (5) 基礎的な内容から発展的な内容まで、幅広い難易度の問題を有していること。
- (6) 選択式、手書き入力、キーボード入力、リスニング、記述等、問題特性に応じた解答方式に対応していること。
- (7) 児童生徒が解答した内容に対して、自動採点又は採点支援ができること。
- (8) 解答内容に応じて、児童生徒が理解しやすい解説を表示できること。
- (9) 児童生徒が、自ら選択した問題、教職員が配信した問題又はシステムが提示した問題に取り組めること。
- (10) 教職員が、学年、学級、児童生徒、教科、単元等を指定して課題を配信できること。
- (11) 児童生徒は、解答を中断した場合でも、可能な範囲で続きから学習を再開できること。
- (12) Google アカウント又は Microsoft アカウント等とのシングルサインオン連携ができること。
- (13) 教科書改訂、機能改善、軽微なバージョンアップ等に対応し、契約期間中に追加費用なく利用できる範囲を提案書に明示すること。

7 テスト機能

提供する AI 型デジタルドリルは、単元ごとの定着度を確認する CBT 形式のテスト機能又はこれに類する機能を有すること。

テスト機能は、選択式、記述式、数値入力その他児童生徒の学力を適切に確認できる回答形式に対応し、自動採点又は採点支援ができること。ただし、記述式等については手動採点を可とする。

また、クラス又は個人単位で、得点、正答率、観点別の結果等を確認でき、必要に応じて CSV、Excel ファイルその他確認可能な形式で出力できること。

テスト実施時のネットワーク不調への対応、不正抑止機能、ルビ表示、その他公平かつ円滑にテストを実施するための機能を有する場合は、その内容を提案書に明示すること。

8 学習履歴管理

提供する AI 型デジタルドリルは、次の機能を有すること。

- (1) 児童生徒が取り組んだ問題、解答、正誤、正答率、解答時間、進捗状況等を蓄積できること。
- (2) 児童生徒ごと、学級ごと、教科ごと、単元ごと等の単位で学習状況を確認できること。

- (3) 教職員が、学習履歴を指導改善、個別支援、補充学習、家庭学習の指示等に活用できること。
- (4) 教職員が、児童生徒の取組状況を把握し、教室での指導等に生かすことができる仕組みを有すること。
- (5) 必要に応じて、学習履歴等を画面上で確認できるほか、CSV、Excel ファイルその他確認可能な形式で出力又は提供できること。
- (6) 同一自治体内での転出入又は進学時における学習履歴の引継ぎについて、対応可能な範囲を提案書に明示すること。
- (7) 教育委員会管理者、学校管理者、教職員等の利用者区分に応じて、閲覧又は操作できる情報の範囲が適切に管理されていること。

9 管理機能

提供する AI 型デジタルドリルは、次の機能を有すること。

- (1) 学校、学年、学級、児童生徒、教職員等のアカウントを管理できること。
- (2) 年度更新、進級、転出入、学級編制等に対応できること。
- (3) 教育委員会管理者が、利用状況を把握できること。
- (4) CSV 等、標準的な名簿連携形式によるデータ取り込みに対応していること。

10 教育委員会への資料及びデータの提供

受託者は、教育委員会が各校の利用状況及び学習状況を把握できるよう、必要な資料又はデータを提供すること。

また、効果的な活用方法の展開、活用促進に向けた方策等について、教育委員会と協議できること。

11 サポート及び活用支援

受託者は、利用開始前及び利用開始後において、次の支援を行うこと。

- (1) 導入に際して、操作方法、初期設定、アカウント設定等について、発注者及び学校が適切に対応できるよう、必要な説明、資料提供及び支援を行うこと。
- (2) 操作方法及びシステムに関する問い合わせ窓口を明確にすること。
- (3) 操作マニュアル、簡易資料、操作動画、FAQ、活用事例等により、教職員が必要な情報を確認できる環境を提供すること。
- (4) 教育委員会の求めに応じ、操作説明又は活用研修を実施すること。
- (5) オンライン相談、オンライン研修、ウェブセミナー等の活用支援を実施できる場合は、その内容を提案書に明示すること。
- (6) サービスの更新、改善又は仕様変更に関する情報を適切に提供すること。

12 付加機能

AI 型デジタルドリルの活用を補完し、児童生徒の学びの充実、教職員の負担軽減又は学校現場の利便性向上に資する付加機能を有する場合は、提案に含めることができる。

ただし、付加機能は、AI 型デジタルドリルとしての中核機能を満たしていることを前提とする。

13 セキュリティ及び個人情報保護

受託者は、本業務の実施に当たり、個人情報の保護に関する法律、那須町の関係規程及び契約書に定める事項を遵守し、個人情報及び学習履歴等を適切に取り扱わなければならない。

また、利用者認証及びアクセス権限の管理、通信経路及び保存データの安全性確保、不正アクセス、情報漏えい、改ざん、滅失等の防止、障害又は事故発生時の報告及び対応、契約終了時のデータ返却、削除又は廃棄等について、適切な措置を講じること。

受託者は、情報セキュリティ又は個人情報保護に係る認証、体制、規程、運用方法等について、発注者から求めがあった場合は、必要な資料を提出すること。

14 その他

- (1) 受託者は、発注者と緊密に連絡を取りながら、本業務を遂行すること。
- (2) 受託者は、業務の遂行に当たり知り得た個人情報、学校情報その他業務上知り得た情報を第三者に漏らしてはならない。契約終了後も同様とする。
- (3) 受託者は、学校運営に支障が生じないように、導入準備、研修、問い合わせ対応等を行うこと。
- (4) 本仕様書に定めのない事項又は疑義が生じた事項については、発注者と受託者が協議の上、発注者が決定する。